

2-メチルイソボルネオール

1．物質特定情報

名称	1,2,7,7-テトラ-メチル-2-ノルボルネオール（別名：2-メチルイソボルネール）
CAS No.	
分子式	C ₁₁ H ₂₀ O
分子量	168
備考	湖沼等で富栄養化現象に伴い発生する異臭味（かび臭）の原因物質である。藍藻類のフォルミディウムやオシラトリアにより産生される。

2．物理化学的性状

名称	2-メチルイソボルネール
物理的性状	-
沸点（ ）	208
融点（ ）	-
密度（g/cm ³ or ml（ ））	-
水溶解度（mg/l（ ））	-
水オクタノール分配係数（logPow）	-
蒸気圧（kPa（ ））	-

（上水試験方法解説編）

3．現行規制等

水質基準値（mg/l）	なし
監視項目指針値（mg/l）	なし
快適水質項目目標値（mg/l）	粉末活性炭処理 0.00002mg/l（20ng/L） 粒状活性炭等恒久施設 0.00001mg/l（10ng/L）
その他基準（mg/l）	薬品基準×、資機材基準×、給水装置基準×
他法令の規制値等	
環境基準値（mg/l）	なし
要監視項目（mg/l）	なし
諸外国等の水質基準値又はガイドライン値	
WHO・EU・USEPA（mg/l）	全てなし

4．水道水（原水・浄水）での検出状況等

○水道統計

年度		測 定 地点数	度数分布表 (ng/L)										
			～ 10	～ 20	～ 30	～ 40	～ 50	～ 60	～ 70	～ 80	～ 90	～ 100	101 ～
H12	原水	313	291	7	1	2	1	0	3	0	0	2	6
	表流水	154	145	3	0	0	0	0	1	0	0	0	5
	ダム・湖沼水	48	35	4	1	2	1	0	2	0	0	2	1
	地下水	81	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	浄水	880	869	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	表流水	250	245	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダム・湖沼水	77	74	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	地下水	393	390	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	160	160	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（目標値（粉末活性炭 20ng/L）の超過状況）

	合計	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度
原水	/	/	/	/	/	/	/	15 / 313
浄水	/	/	/	/	/	/	/	2 / 880

注）合計の欄の測定地点数は 1 年間の延べ地点数である。

5．測定手法

PT-GC-MS 法、固相抽出-GC-MS 法、HS-GC-MS 法により測定できる。

PT-GC-MS 法、固相抽出-GC-MS 法、HS-GC-MS 法による定量下限（CV20％）は、それぞれ、1ng/L（PT-GC-MS 法） 2ng/L（固相抽出-GC-MS 法、HS-GC-MS 法）である。

6．毒性評価・利水障害

2-MIB は、Gerber 及び Medsler らによって放線菌から分離したかび臭物質で、墨汁のようなおいを呈するもので、ある種の藍藻類と戦線菌が産生する異臭物質である。水中にごく微量含まれていても感知され、閾値は 5ng/L と言われているが、20 人のパネラーによる事例では臭気感知範囲は 0.1～115ng/L と個人差が大きい。（上水試験方法解説編）

水質専門委員会（1992）は、快適水質項目として目標値を、処理技術の観点も勘案して、粉末活性炭処理による場合：0.00002mg/L、粒状活性炭等恒久施設による場合：0.00001mg/L とした。

7．処理技術

通常の浄水方法のうち緩速ろ過のほか、オゾン、活性炭、生物処理により除去できる。膜ろ過による除去性がある。

8．水質基準値（案）

（１）評価値

平成４年以降、新たに追加すべき知見はないことから、H4 専門委員会の評価値を踏まえ、粒状活性炭等恒久施設による場合の値を採用し、0.00001mg/L とすることが適当である。

（２）項目の位置づけ

水道水での検出状況等から評価値を超過している例も見られ、また、この物質による異臭味被害も生じていることから水質基準とすることが適当である。

9．その他参考情報

参考文献

上水試験方法解説編（2001）日本水道協会